

宮崎北部森林管理署交渉（全国林野関連労働組合宮崎北部森林管理署分会）

議 事 要 旨

- 1 日 時 令和5年11月22日（水）17時30分から18時25分
- 2 場 所 宮崎北部森林管理署 会議室
- 3 出席者

宮崎北部森林管理署	古島 勝美	署長
同	飯星 明	次長
同	竹原 敬一郎	総括事務管理官
全国林野関連労働組合宮崎北部森林管理署分会	岩本 浩三	委員長
同	原口 尚也	副委員長
同	山川 祐一	書記長
同	山口 隆志	執行委員
- 4 交渉概要
  - (1) 令和6年度の森林整備等に係る労働条件について  
(職員団体) 令和6年度当署の再生林をはじめとする森林整備森林吸収源対策等に係る労働条件については、労働過重とならないよう時間管理、業務内容の精査をすること。  
(当 局) 既に、来年度の事業予定については参考資料等の照会がなされているところであり、ほぼ森林整備事業等も計画量が決まりつつある。これに加え、松くい虫防除事業についても時機を逸することなく実施していく考えであるが、これらに伴う職員の出張や時間外労働については、旅行命令や超過勤務命令を適切に行い労働過重にならないようしっかり目配りしてまいる。
  - (2) 今後の各種事業実行に伴う労働安全について  
(職員団体) 今後の収穫量等の各種計画量については、当署の資源状況を十分に踏まえたものを実行するにあたり、職員の労働安全の確保を図ること。  
(当 局) 当署管内は急峻な地形が多く、森林作業道による森林整備に適さない箇所も多い。このような、作業条件が厳しい箇所の踏査・調査については足下周囲の確認等、危険予知に努めるよう指導してまいる。
  - (3) 事業実行体制に関する問題について  
(職員団体) 当署の収穫量等の拡大に伴う事業実行体制の確保、とりわけ、当署の実態を踏まえた現場管理機能の確立に向けた対策を講じること。具体的には第一日之影森林事務所の首席森林官の空きポスト解消、上椎葉森林事務所が山地災害危険地区内に立地しているため、早期の移転実施、署内のポストグレードに見合った職員配置や業務量の調整、職員の通勤時の安全を図るため西階宿舎の日向市への移転計画などの対策を講じること。

(当 局) 九州局全体で職員が足りていない中で、当署においても第一日之影首席ポストをはじめいくつか空きポストがあり、負担をかけているところ。空きポスト解消に向け引き続き上局へ要望してまいる。

上椎葉森林事務所移転については、椎葉村からの候補地提供を受け検討してきたが、適地が見つからない状況である。今後は、不動産会社等へも問合せし移転地を検討してまいりたい。

ポストの高い業務を行っている職員については、労働過重とならないよう引き続き業務量の調整や非常勤職員の活用、応援体制によりカバーしてまいりたい。

西階宿舎の日向市移転については、職員の通勤上の安全確保からすると重要なことではある。要望は上局へ伝えてまいる。

(4) 労働諸条件の改善について

(職員団体) 当署職員の労働過重とならないよう、引き続き非常勤職員を確実に採用し円滑な業務運営に向けて、今後も継続して取り組むこと。

(当 局) 職員が労働過重とならないよう引き続き非常勤職員の雇用により円滑な業務運営となるよう取り組んでまいる。